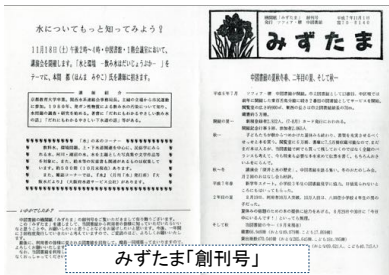


各区図書館のあゆみ [2] 中区

中図書館・東百舌鳥分館

平成6(1994)年7月1日
教育文化センター(愛称ソフィア・塚)内に
中図書館として開館

「自然への回帰」をメインコンセプトに、プラネタリウムをタイムマシンに見立て、原始林、丘陵、洞窟のイメージを建物に埋め込んで、未来を担う子どもたちに人類誕生の原点の時代を感じさせたいという発想でまとめられました。外部のミラーガラスには樹木が映え、重なった樹木が森林となり、また丘陵のようにリズムカルにセットバックした建物の外壁は、切り立った岸壁を模しています。図書館棟は地上2階地下1階で、中図書館は図書館棟の1、2階と地下1階です。(延床面積1,687.83㎡、うち閲覧室895.86㎡、書庫129.07㎡)



みずたま「創刊号」



外山福三氏による「深井と水の歴史」

開館初年度の蔵書は約5万8千冊で、市民の生涯学習の推進、芸術・文化の振興と育成、教育全般の向上と充実、平和と人権啓発の推進、多様化する情報化社会に対応できるように資料の収集を行い、提供をおこなってきました。平成8年に開始した一般資料の分担収集として、教育、技術・工業、環境、言語関係の資料を多く収集しています。特に教育情報については、教職員の研究資料を備え、生涯学習や家庭教育にも資するよう「教育情報コーナー」を設置しています。

東百舌鳥分館

平成5(1993)年12月11日
東百舌鳥公民館内に
中央図書館東百舌鳥分館が開館

平成6(1994)年7月1日に教育文化センター中図書館の開館に伴い、教育文化センター中図書館東百舌鳥分館となりましたが、平成9(1997)年4月に、機構改革により中央図書館部に編入、中図書館東百舌鳥分館となりました。鉄筋コンクリート造地上2階建で、図書館は1階部分です。(延床面積347.01㎡、うち閲覧室は248.95㎡)



オープニング記念行事
(9回で参加者2065人)



最初のおはなし会に100人参加

子どもたちの発達段階に応じて早くから取り組んでいます。

- ◎「おはなし会」(毎月第2・4土曜日)
 - ◎「えほんのじかん」(平成14年度から毎月第1・3土曜日)
 - ◎「えほんおたのしみ会」(平成15年度から第5土曜日)
 - ◎「赤ちゃんえほんのじかん」(平成21年度から第3木曜日)
 - ◎「なかとしょかんにいこう!」(平成22年度からは、3つのボランティア団体が企画段階から加わって年に1回開催)
 - ◎「いっしょにあそぼう わらべうた」【対象:2歳までの乳幼児とその保護者】(平成26年度から第1水曜日)
- 【協力:おはなしボランティア『おはなしウーフの会』、・読み聞かせボランティア『絵本のひろば よっといで!』】

「おはなし会」(毎月第1・3土曜日午後)、「えほんのじかん」(毎月第2土曜日午前)、「赤ちゃんえほんのじかん」(毎月第4木曜日午前)、「みんなあつまれよっといで〜♪」(年1回12月)を開催しています。
【協力:おはなしボランティア『おはなしウーフの会』、読み聞かせボランティア『絵本のひろば よっといで!』】



環境おはなし会



区民フェスタ(平成9年8月)



なかとしょかんにいこう!

